

令和4年 新年号



酒田市農業委員会報 No.62



「今年も米の恵みができました」～新酒の完成を知らせる杉玉の架け替え～

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
日頃より本市農業委員会活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
昨年の農業情勢は、豪雪や霜降ひょうで果樹・園芸などに甚大な被害が発生しました。秋には米の消費減退と相まって仮渡金の大幅減となりました。
さて、令和2年の食料自給率は37割と公表されております。自給率の向上や、国民に「安全で安心」な食料を提供できる日本農業の「かま構」をしっかりと作り上げていく必要があります。生産基盤としてはもとより、公共財としての農地を優良な形で次世代の多様な担い手に継承していかねばなりません。本市農業の持続的な発展のため、農業委員会一丸となり取り組んでまいりますので、本年もよろしくお願い申し上げます。



酒田市農業委員会
会長
五十嵐直太郎

いぬさか

特集

農業委員が紹介します

未来の農業につなぐ私たちの活動



29人の委員で構成されている酒田市の農業委員会。農地の貸し借りや売買、農地転用の許可を毎月の定例総会で審議しているほか、日々、地域の農業者からの農地に関する相談や農地の現場確認、農業者年金等についての相談も受けています。今回は農業委員が行っている普段の活動について、農業委員自らご紹介します。

担い手への農地利用の集積・集約のために

全国的に農業就業人口が減少し、高齢化率は上昇しています。次世代を担う担い手の育成・確保が不可欠となっており、担い手への農地の集積・集約化が求められています。農地の集積・集約のための大きな手法である農地中間管理事業における貸し借りのマッチング活動について紹介します。



齋藤 均 委員

(会長職務代理者)
(中平田)

写真は酒田市農地集積センター支店会議の様子です。借り手を探す農地を農地中間管理事業を通じて、登録された受け手へのマッチングを行います。メンバーは農業委員に地区の農業組織代表を加えた8人で構成され、農地中間管理事業に出された農地の最適な利用と集積、集約化に向けて協議を行うものです。

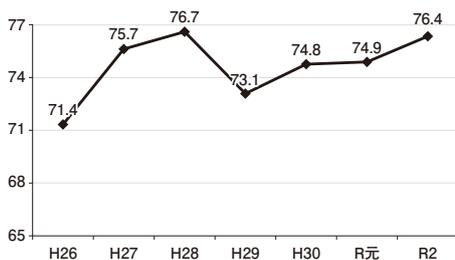
農地を荒らさず最適に利用していただける担い手に集積、集約させていく作業ですが、昨今は営農の規模や形態、生産方法等が多岐

に渡り、それを念頭に置いたうえで農業組織それぞれの視点から十分に検討することが求められ、利害調整に時には難しい判断を迫られることもあります。すべての人に100点の調整はできないのかもしれませんが、メンバー全員で真摯に対応していきたいと考え、協議に当たっています。



▲マッチング活動の様子

担い手への農地集積率の推移 (%)



遊休農地の発生防止・ 解消のために

農業従事者の減少や耕作不利益の管理の負担増などから、遊休農地が発生してしまふことがあります。遊休農地の発生防止と解消のため、農業委員が行っている農地パトロールについて紹介します。



川村恵美委員
(浜中)

農業委員会では、農地利用状況調査員とともに、

○地域の農地利用の確認

○遊休農地の実態把握と解消、発生防止

○違反転用の発生防止、早期発見を目的に農地パトロールを実施しています。

遊休農地のおそれがある農地を重点的に行いましたが、パトロールをしてみると、昨年同様雑草雑木が生い茂っている場所がありました。この状態が続けば、病害虫の発生などで近隣農地への迷惑につながりかねません。耕作可能な農地に戻すには、草刈り、耕起、拔根などを行い、整地しなければ

ならず、大変な手間と時間を費やすこととなります。

遊休農地の問題にはさまざまな理由が考えられます。耕作の再開が難しいようでしたら、農業委員にご相談ください。今後も調査にあたり、農地内に立ち入ることもありますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



▲農地パトロールにご理解とご協力

交流と研鑽を積み、 地域農業の発展を

全国の農業者との出会いと刺激
によって農業の持続的な発展を



吉高祐二郎委員
(八幡)

11月18日、第23回全国農業担い

手サミットが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン配信により開催されました。

本来であれば、開催県である茨城に農業委員3人で出向き、全国の農業者と交流し、現地の状況を見る予定でしたが、web参加しながら、むしろ3人で有意義な意見交換をすることができました。

優良事例を紹介しながらも、全国に通底する課題も紹介され、それらを見ながら委員お互いの営農状況、目標、課題等を当てはめ意見交換し、より身近な農業の課題を確認できました。

今回のサミットは年度末まで配信するということでしたので、家族や地区の集落営農等で意見交換のきっかけに、ぜひご覧いただけたらと思います。



▲オンライン配信による担い手サミット

女性が輝き、女性が変わる 未来の農業



三浦ひとみ委員
(本楯)

7月に天童市で開催された山形県農業委員女性の会の総会・意見交換会に参加しました。酒田市からは私を含む女性農業委員4人全員が参加しました。当日は県内から多くの女性農業委員・農地利用最適化推進委員が集まり、就任間もない私はその様子を見て身の引き締まる思いがしました。

意見交換会では、県内それぞれの地域での取り組みが紹介され、女性ならではの活動の仕方、悩み、喜びの体験談を聞くことができました。山形県内における女性農業委員の割合はまだ少ないのですが、今抱えている問題や、先を見越した活動など、女性ならではの視点で頑張っていきたいと思えました。



▲本市の4人の女性農業委員

先を見越した活動など、女性ならではの視点で頑張っていきたいと思えました。

キラリな女性

かがやく
女性農業者

『経験ゼロからの農業』

東大町
遠藤 桃子

私は、普通の会社員を辞め農業に携わるようになり2年が経ちます。元々、その道を長く続けるつもりもなく、実家が農家だったため、繁忙期に手伝い始めたことが農業に就くきっかけでした。

手伝いは稲作とミニトマトの栽培作業がメインです。最初は言われたとおりに作業を淡々とこなす日々でしたが、農作業が素人の私にとっては基礎的なことも分からず苦戦しました。少しずつ、なぜこの作業をするのかという根本的な理由が分かってくると、自身で次の作業を考え応用も使えるようになり、そこから段々と楽しくなってきた感覚がありました。

そのうち、期間限定ではなくこれからも続けたいという気持ちが強くなり、今年から自身の経営部門を持ち新規就農することを決め

ました。自分に言い聞かせていることは「知識や経験がゼロということは、伸びしろは100」ということです。やりたいことはたくさんありますが、今は焦らずに着実に、将来は農で食べていけるように、たくさんさんの知識を吸収していきたいと思っています。

栽培技術はもちろんのこと、事務処理や機械の扱い、鋭い経営判断や、粘り強い体力など、これから身につけていくべきことはたくさんあります。農に触れ、改めて食の基礎を作る農家の偉大さを知りました。今後も失敗や挫折は必ずあると思いますが、持ち前のポジティブ思考で楽しみながら乗り越えていきたいです。



農地に関するほていなを解消

教えて

キラリン



今号のテーマ

参考農作業料金と
参考賃借料

Q 参考農作業賃金とは何ですか？

農作業の受委託をする際、委託者・受託者双方で参考としてもらえるよう、金額を農業委員会で定め公表しています。農業委員会のホームページでご覧いただけます。

▲農業委員会
ホームページ

Q 作業を委託・受託した時は、必ずその金額でないといけないのですか？

あくまでも参考の金額ですので、双方で相談して決めてください。なお、その年度途中で最低賃金が改訂された場合は、下回らないよう双方で相談して対応してください。

Q 参考賃借料とは何ですか？

農地の貸し借りをする際の参考となるよう、JA、土地改良区、農業共済組合、農業委員会から構成される酒田市農地集積センター参考賃借料検討協議会で作成する10坪あたりの賃借料の目安です。

令和4年度の参考賃借料は令和3年度分と同額で決定になりました。これも農業委員会のホームページでご覧いただけます。参考賃借料もあくまで参考です。双方で相談して決定してください。

※土地改良区の償還金があるところ、変形田、中山間地等の作業環境が悪いところの賃借料は、双方でよく相談してください。契約期間中の賃借料を毎年の参考賃借料に準じるかどうかも双方でよく相談してください。

かぜ

～若手農業者リレーエッセー～



私の家は稲作、畑作を中心にしてきた。就農する前は設計会社に20年勤め、農繁期の忙しい時期は農業を手伝ってきました。

就農したての時は父について歩き、家の田んぼや畑の場所を覚え、作付けの時期や収穫時期などを日々学んでいました。手伝いで作業するのと職業として作業するのとではまるで違い、常に先を見据えて自分で計画して実行する大変さがありました。今では、反省してまた次の目標を立てて改善していく楽しみができてきました。就農して6年目の今でも学ぶことがたくさんあり日々努力を続けています。

最近では、園芸チャレンジハウス

チャレンジ農業

藤塚 堀 隆 司

支援事業でシャインマスカットの栽培を始めました。今まで果樹の栽培はしたことがなく、講習会などに参加して技術を学び、テレビや広告で目にするようなシャインマスカットを目指して努力して栽培しています。果樹は野菜や稲とは違った楽しみがあり、同じ木でも1年ごと成長していく果物を収穫する楽しみがあります。

今年は、昨年より立派なシャインマスカットができ、子供たちや近所の友人に食べてもらえたことが何よりの喜びでした。来年は今年より立派なシャインマスカットを栽培し、もっとたくさんの人に食べてもらいたいと思いつつ一生懸命育てていきたいと思っています。

今、一番の楽しみは一生懸命育てた野菜、米、果物を私の子供たちや消費者が笑顔で食事する姿を見ることです。



【お詫びと訂正】

前号（令和3年秋季号）3頁に記載のひらた農産物直売所 めんたま畑の記事に誤りがありました。お詫び申し上げますとともに、以下のとおり本文を訂正させていただきます。

ひらた農産物直売所 めんたま畑

営業時間 9:30～17:00（通年）

定休日 毎週火曜日・12月31日～1月5日
住所 酒田市飛鳥字堂之後83-3（平田総合支所となり）
TEL 0234-61-7200

【組合長 阿曾兼太さんから一言】

平成12年4月22日にオープンして、地域の皆様より愛されて今年で21周年を迎えようとしています。現在の組合員数は38名です。

1日の来訪者は250人ほどで、イベント時には600人を超えるお客様より来て頂いています。昨年はコロナウイルスの影響でイベントを中止にいたしました。その分毎日朝どりの新鮮な農産物を取り揃えています。



商品を頑張って揃えて貰っている組合員の皆様にも感謝しています。

これからもますます元気なめんたま畑。近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

【おすすめ！推し農産物】

春は孟宗竹・山菜の他に、ワサビの花芽がおすすめ。

赤ねぎ：ひらたの土地で大切に守り育てられた伝統野菜です。全国的に人気。

加工品：旬の食材を使った手作りおにぎり、漬物、塩蔵品が人気。



【常連さんの声】

20年くらい通っています。種類が豊富で、特に葉物が新鮮でお得に購入できます。おにぎりなど加工品もあるのが嬉しいです。（50代、女性）



農業委員会がおじゃまして

お聞きしました!

本橋地区

仲川 良徳 朝子 ご夫妻



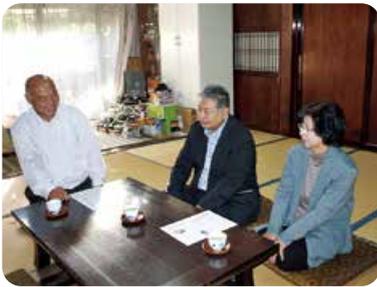
水稲を中心に約14畝を経営している良徳さん(71歳)と朝子さん(68歳)ご夫妻。

長男が2年前に就農したこともあり、規模拡大を目指し機械を更新するなど、意欲的な農業経営をされています。

良徳さんは学校を卒業すると農業に就き、その時に和牛の飼育を始めたそう。多いときは60頭を飼っていたとのこと、餌となるわら取りが大変だったといえます。当時は牛の面倒を見ることが中心で、朝起きると餌やり、自分の朝食、田仕事、夕方はまた餌やりの毎日。牛の健康観察が欠かせない日々が続き、20年ほど前まで一貫経営で頑張っていたそうです。共進会でチャンピオンを取ったこと

もあり、「一生懸命ブラッシングして、なでであげてたの」と振り返ります。

楽しみは東京にいる孫の顔を見るに旅行に行くこと。「コロナで行けないから、落ち着いたら行きたいね」と夫婦で目を細めます。現在は長男に機械仕事は任せ、主に苗やハウスの管理をしているのですが「もう少し田を増やせそうかな」と将来を見据え、他には手を出さずに頑張っていきたいと語ります。「辛い担い手に恵まれている地域だから、これからも米づくりを頑張っていきたい」と語る良徳さん。これからも元気で活躍ください。(飯塚将人委員)



おしらせ

宮中新嘗祭に 粟を献納しました



土田治夫委員
(平田)

宮中新嘗祭に山形県には毎年、米と粟が割り当てられています。今年も平田地区の番で、私に白羽の矢が立ちました。

粟を見るのも作るのも初めてで、関係各所よりいろいろと指導をいただきました。5月の播種に始まり、6月の定植、その後の日々の管理、日増しに大きくなりフラワーネットを2段張りしました。7月下旬に穂が出始め、草丈が2倍を超え頭が垂れ始めたお盆過ぎ、大変な事が起きました。重みで倒伏したのです。応援をもらい2日ばかりで1株ずつ起こして復帰しました。9月にはこれも応援をいただき、収穫から脱穀・精白にこぎつけ、そして10月14日に修祓式を執り行うことができました。コロナ禍のため、皇居に参内しての献納は叶いませんでしたが、自分が還暦の年に献穀者になれた

こと、また多くの皆さんからご協

力をいただき、無事献納を終えられたことに感謝を申し上げます。



編集後記

新年明けましておめでとうございませう。

この会報「きらり」がお手元に届く頃は、雪も積もり始めている頃かと思えます。

令和2年の12月より農業委員として活動を始め、あつという間に1年が経ちました。農地のことを何も分からずのスタートでしたが、周りの先輩方からたくさん教えていただき、少しですが理解できてきたかなと思います。

農地制度や新規就農の支援等々、覚えることもたくさんあります。まだまだ勉強が必要ですが、地域の農業者の皆さんのお役に立てる農業委員を目指して頑張っていきたいです。(阿部香美)